

新旧対照表

【分類例規（昭和 62 年 12 月 23 日蔵関第 1299 号）】

（注）下線を付した箇所が改正部分である。

	改正後		改正前
5804. 21	<p><u>1. リバーレース</u></p> <p><u>関税率表第5804. 21号 - 2 (1) A に規定する「リバーレース」</u> <u>とは、機械製のレースの一種で、たて糸にボビン糸をからませ</u> <u>複雑な模様を作るリバーレース機で作られたものをいい、その</u> <u>柄は繊細で美しく、立体的な模様が施されている。</u></p> <p><u>ただし、リバーレースの代替えとしてたて編みのラッセル機</u> <u>（編み機）で作られたものは「リバーレース」には含まれない。</u> <u>これらはリバーレースに近い精工な柄が施されており、薄く平</u> <u>らな仕上がりで、透かし穴のある柄が特徴的である。</u></p> <p><u>次に掲げるいずれかの一般的特徴を有するものは、「リバー</u> <u>レース」に該当しない。</u></p> <p>(1) <u>量産化されたレースで、デザイン（レース柄）が単調の</u> <u>もの。</u></p> <p>(2) <u>ほつれ線を有するもの。（編み目がほつれないように加</u> <u>工を施したもの。）</u></p> <p>(3) <u>スカラー部（端部分）に残糸が確認できるもの。</u></p>		(新 規)